



スクーリング

- I スクーリングとは
- II スクーリング受講申込み
- III スクーリング準備
- IV スクーリング受講にあたって
- V キャンパスマナー
- VI インターネット等を利用したスクーリング

I スクーリングとは

1 スクーリングとは

スクーリングとは

スクーリング（面接授業）とは、本学または地方会場の教室で、各科目を担当する教員の講義を聴くものです。原則として、同じ科目の授業を1日半または3～4日間連続して受講する集中講義形式で行います。

・スクーリングは受講料がかかりますが、下記のようなメリットがあります。

- (1) 担当教員の講義を聞くことで科目内容についての考えを深められる。
- (2) 教科書を読むポイントがわかり、論述式レポートをまとめやすくなる。
- (3) 一部科目の一部課題については、論述式レポートとは異なる穴埋め式などのスクーリング受講者専用「別レポート」の提出が可能となる。
- (4) 卒業に必要なスクーリング単位が修得できる。
- (5) 共に学ぶ知り合いができて、在宅学習の励みとなる。

スクーリングとレポート

スクーリングは、レポート提出前でも受講できます（事前課題が課されている「コミュニケーション英語」「社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ」「精神保健福祉援助演習」「総合演習」「各実習事前事後指導」などの科目を除く）。

スクーリングを受講しても、4単位科目は4課題、2単位科目は2課題というレポート提出数に変更になりません。

スクーリング試験に合格すれば、科目修了試験は免除になります。

2 スクーリング開講日程と手続き

開講日程

スクーリング開講日程・会場は、『試験・スクーリング情報ブック』のとおりです。

平成20年度以前入学者と、それ以前の入学者は社会福祉士・精神保健福祉士指定科目などを中心に大きくカリキュラムが異なるため、下記のようなマークをつけています。皆さまは◆印記載で、かつ自身が履修登録している科目について、申込みを行うことができます。

◆＝平成20年度以前（編）入学者

★＝平成21年度以降（編）入学者

受講科目 の選択

スクーリングを受講する科目は、ご自身の都合に合わせて選択していただき、科目ごとに事前の申込みが必要です（開講時期の約1～3カ月前の『With』で申込方法をお知らせします）。履修登録をしていない科目は、受講ができません。

同じ科目について、開講予定が2つ以上示されているものは、どちらか一方を受講すれば結構です。ただし、申込んだ科目については、1日半または3～4日間連続で出席する必要がありますので、ご注意ください。欠席・遅刻をすると単位認定はできません。

なお、卒業を必要とする方は、卒業までにスクーリング単位を30単位以上（2年次編入学者は22単位以上、3年次編入学者は15単位以上）修得の必要があります。スクーリング単位について、くわしくはp.140をご覧ください。

申込みは科目ごとですので、たとえば夏期スクーリングについて、2週間連続で出席が必要なわけではありません。

時間割

		時 間 割			
1 時限	午前 9 時20分～	10時40分			
2 時限	午前10時50分～	午後 0 時10分			
		(昼休み)			
3 時限	午後 1 時10分～	2 時30分		午後 0 時40分～	2 時00分
4 時限	午後 2 時40分～	4 時00分		午後 2 時10分～	3 時30分
5 時限	午後 4 時10分～	5 時30分		午後 3 時40分～	5 時00分

1 時限（＝通称コマとよばれています）の授業時間は80分です。上記の時間割を基本にして（開始が40分ずれる場合は終了も40分ずれます）、『試験・スクーリング情報ブック』記載のような日時での開講となります。

ただし、会場の都合などによって、時間割が変更になることも多くあります。くわしくは、各スクーリングごとに『With』でお知らせいたします。

事務処理 (受講期)

スクーリングの受付・納入依頼書発行・受講許可証発行・成績発送などの事務処理は、「夏期Ⅰ」などに区分された受講期ごとにまとめて行います。

成績の 通知

スクーリング試験の結果は、各期のスクーリング最終日から1カ月以内に郵送で通知いたします。結果に疑問のある方は到着後1週間以内に書面（メール・FAX・窓口可）にてお申し出ください。

3 スクーリング単位

スクーリング単位

通信教育部を卒業するためには、「科目の単位」のほかに「スクーリング単位」を修得することが法令で決められています。

卒業までに必要なスクーリング単位は1年次入学者の場合は30単位以上（2年次編入学者の場合は22単位以上、3年次編入学者の場合は15単位以上）です。ビデオ・スクーリングによるスクーリング単位は、10単位までのみ卒業に必要なスクーリング単位として認められます（1～3年次入学者とも）。

「スクーリング単位」は、スクーリングを受講しスクーリング試験に合格すれば修得できるものです（ただし、正式には、レポートが合格し「科目の単位」が修得できた時点ではじめて付与されます）。

なお、大卒の方が教職免許状のみを取得希望の場合などは、卒業が必要ありませんので、スクーリング必修科目以外のスクーリング受講は任意です。

スクーリング単位数

原則として、4単位科目の「スクーリング単位数」は2単位、2～3単位科目の「スクーリング単位数」は1単位です。

「スクーリング単位数」は、受講した授業の時間数によって科目ごとに決められています（「開設授業科目一覧」p. 20～32参照）。

実習・実技科目（英語・スポーツ・心理学実験など）は、12時限（＝通称コマとよばれています）の授業を受けて1単位となります。一般の講義・演習科目は、12コマの授業で2単位（6コマで1単位）です。特講などのS科目や一部の演習など8コマで1単位の科目もあります。

具体例	科目の単位	スクーリング単位
「福祉社会学」SRで単位修得 （スクーリング+レポート）	4	2
「障害者福祉論」Rで単位修得 （レポート+科目修了試験）	4	0
「特講・社会福祉学」Sで単位修得 （スクーリング）	1	1
⋮	⋮	⋮
卒業要件（1年次入学者）	124単位	30単位

スクーリングを受講する方法で単位を修得した場合は、「科目の単位」のほかに「スクーリング単位」が付与されるとお考えください。

II スクーリング受講申込み

1 スクーリング受講申込条件

申込条件

スクーリングは、下記の方が申込みできます。

- (1) 受講科目の履修登録をしている方
- (2) 申込んだ科目については遅刻・欠席なしで受講できる方
- (3) 学費を納入済みで、スクーリング受講料を期限までに納入できる方
- (4) 申込んだ科目のスクーリングに以前合格していない方

追加履修登録

受講科目の履修登録をしていない方は、6月上旬と11月中旬（10年生のみ2月中旬）ならば追加履修登録をしたうえで、スクーリングを申込みすることができます。追加履修登録については、p. 39～40をご覧ください。

2 スクーリング申込方法

申込要領

スクーリングの受講を希望する方は、開講約1～3カ月前発行の『With』巻末綴込みの「スクーリング受講申込みハガキ」に、必要事項を記入のうえ、申込みをお願いいたします。

ハガキ記入の要領(例)

春期スクーリングII 受講申込みハガキ					
学籍番号	09Tz999				
氏名	福祉 歩美				
	 *092999*				
以下のとおり、春期スクーリングII受講を申込みます。					
■ 1年生以上配当科目 ■					
科目名	申込み	開講日	講時	コマ数	受講料
福祉心理学 (ビデオ)	<input type="radio"/>	4/14・15	札幌	6	5,000円
■ 2年生以上配当科目 ■					
科目名	申込み	開講日	講時	コマ数	受講料
生涯発達心理学 (ビデオ)	<input checked="" type="radio"/>	4/14・15・21	仙台	12	10,000円
精神保健福祉論Ⅰ (ビデオ)	<input type="radio"/>	4/15・21	八戸	6	5,000円
精神保健福祉論Ⅱ (ビデオ)	<input type="radio"/>	4/21・22	八戸	6	5,000円
■ 3年生以上配当科目 ■					
科目名	申込み	開講日	講時	コマ数	受講料
社会保険論 (ビデオ)	<input type="radio"/>	4/13～15	新潟	12	10,000円
公的扶助論 (ビデオ)	<input type="radio"/>	4/21・22	新潟	6	5,000円
公的扶助論 (ビデオ)	<input type="radio"/>	4/21・22	仙台	6	5,000円
<small>(注) 同じ期間に行われる講義は、いずれか1科目しか受講できません。</small>					

(ハガキ裏面)

①学籍番号、②氏名、③申込み科目の「申込欄」に○印を記入し、④氏名バーコードを貼付してください。

(ハガキ表面)

50円切手を貼付し、住所・氏名を記入してください。

受講 許可証

スクーリングの受講を申し込んだ方で前頁の申込条件を満たす場合は、スクーリングの受講は許可されます。受講許可証をスクーリング開始の5日前までには到着するようにお送りします。

ただし、事前課題の課されている科目で課題を期限までに提出しない場合、および受講料を期限までに納入しない場合は、受講許可証の有無にかかわらず、受講できません。

3 受講料の納入と取消・返金

受講料

スクーリング受講にあたっては1単位あたり5,000円（ただし、演習、実習、実技科目は1単位あたり10,000円、特講科目などのS科目は8コマの場合1単位7,000円）の受講料が必要です。「受講料納入依頼書」（「受講許可証」とは別便で送付します）の指示に従い、コンビニエンス・ストアより納入してください。宛名下「通信欄」に「受講科目名」が記載してありますので、ご確認をお願いいたします。

「納入依頼書」到着前に受講料を納入することはできません。また、受講料を納入しない方は、スクーリングを受講することができません。

受講科目 の変更

スクーリング受講申込後の受講科目の変更は原則としてできませんので、申込ハガキを投函される場合はご注意ください。ただし、ハガキ投函後、本学が受講料納入依頼書を発行する前であれば、書面（様式任意）の申し出により受講科目の変更（一部取消・追加）を行うことができます。また、すでに申し込んでいる科目で違う期の同一科目を受講する場合、取消をしてから申し込んでください。取消を行ってからでないと受付ができなくなります。

受講料納入依頼書発行後の一部科目の取消などの変更はできません。一旦全額を納入した後に返金手続き（p.143～144参照）を行ってください。

受講の 取消

受講申込後、受講を取消す場合は、本冊子巻末の様式12「スクーリング受講科目取消確認書」を利用して郵送またはFAX（返金希望の場合は必ず郵送）で通信教育部あて届出をお願いします。

取消は1科目ずつ可能です。なお、「受講科目取消確認書」は期ごと（p.139参照）に処理します。別の期の科目を1枚にまとめて提出しないでください。

受講料の返金

受講料を入金した後、事前に書面（本冊子巻末の様式12の「スクーリング受講科目取消確認書」）による届出のうえ全日欠席された方には、お申し出があればスクーリング受講料の一部を返金いたします。返金額は、納入された受講料から事務処理手数料1,000円を差し引いた金額となります。

（例）受講料10,000円の場合 9,000円が返金となります。

事前に書面（直前の場合は電話またはFAX、電子メールで連絡したうえで書類を郵送してください）による欠席届出のなかった科目、1日でも参加された科目は返金対象にはなりませんので、ご注意ください。

返金対象者は、「取消確認書」に返金を希望する銀行口座を記入し、捺印のうえ郵送で届出をお願いします。返金までは届出が本学に到着後から3カ月ほど要します。ご自身で記帳をするなどし、ご確認ください。

返金を希望する場合の取消確認書の提出に関する注意は下記のとおりです。

- (1) コンビニエンスストアで受講料を納入いただいた際の領収書原紙（青色の払込受領書）を「スクーリング受講科目取消確認書」に貼付してください。

※コンビニエンスストアで受講料を納入いただいた際の領収書原紙（青色の払込受領書）は大切に保管してください。

- (2) 「スクーリング受講科目取消確認書」は原則として配達記録の残る書留、宅配便などの方法で提出をお願いいたします。郵便事情などにより未着の場合は上記配達証明に関する証拠、または払込受領書コピーを提出いただきます。払込受領書を通信教育部に送付する場合、コピーは必ずお手元に残しておいてください。
- (3) 同一のスクーリング受講期に関する一部科目取消・返金の際に、払込受領書の返却が必要な場合は、その旨記載して80円切手貼付、返信先住所記入の返信封筒をご用意いただければ受領金額分に訂正した払込受領書を返送いたします。
- (4) 返金手数料1,000円分の領収書は発行いたしません。やむをえず必要な方はその旨を記載して80円切手貼付、返信先住所記入の返信封筒を同封の上、お申込みください。
- (5) 「スクーリング受講科目取消確認書」の原紙はスクーリング欠席後できるだけ早く、遅くとも1カ月以内には提出してください。なお、長期入

院などの場合も含めスクーリング欠席後半年以上経過した受講料の返金
はいたしません。

- (6) 返金を希望する場合、銀行名、支店名、口座番号、名義人（カタカナ）
は正確に記載し、必ず郵送してください（FAX不可）。返金口座名が不正
確で再振込になった場合、事務手数料1,000円以外に振込手数料を差し引
くことがあります。

※ゆうちょ銀行への返金は、支店名が3桁の漢数字の支店の場合のみ返
金が可能です。

スクーリングに関する電子メールでのお問い合わせは、us@tsukyo.tfu.ac.jp へお願い
いたします。

Ⅲ スクーリング準備

1 宿泊の手配

スクーリング期間中に宿泊の手配を必要とされる方は、『試験・スクーリング情報ブ
ック』などを参考に各自で行ってください。

2 学割証交付願

スクーリングに参加する際にJR線で101km以上乗車される場合（利用可能区間→
p.177）は、学割が利用できます（科目等履修生は利用できません）。

学割の利用にあたっては「学割証申込用紙」（巻末の様式9）に必要事項を記入し、80円
切手貼付・返信先住所記入済の返信用封筒を同封のうえ、郵送でお申込みください。

くわしくはp.176～179をご覧ください。

3 面接授業出席依頼状・出席証明書発行願

スクーリングに出席するために勤務先に対して、大学からの出席依頼状が必要な場合は、
巻末の様式11「面接授業出席依頼状（・証明書）発行願」に記入し、返信用封筒（80円切

手貼付・返信先住所記入済)を同封のうえ、お申込みください。

4 受講にあたっての予習

受講前には、教科書に一通り目を通しておき、どこがわからないのかを明らかにしておく、レポート課題に対する自分なりの解答を用意しておくなどの予習を行うと、講義の内容をより深く自分のものとすることができます。講義予定内容は『With』でご案内します。

5 持ち物

- 1) 学生証, 受講許可証
- 2) 筆記用具 (ノート, ペン, 修正液, 鉛筆, 消しゴムなど)
- 3) 教科書 (受講科目の教科書は忘れずにご持参ください)
- 4) 『試験・スクーリング情報ブック』『学習の手引き』『レポート課題集』『With』で必要と思われるもの
- 5) 健康保険証 (急病の時のため), 常備薬 (必要に応じて)
- 6) スポーツ科目 運動のできる服装・くつ 介護実習事前指導 活動のしやすい服装
- 7) その他『With』の「講義概要」で指示されたもの
- 8) スリッパ (盛岡・新潟・長岡など土足禁止の会場。本学では「マルチメディア教室」の場合)

IV スクーリング受講にあたって

1 出席確認

授業の開始時間等に教室入口で出席確認をします。学生証・受講許可証を用意し、係員の指示に従ってください。なお、授業の開始10分前には教室に入るようにしてください。

2 受講上の注意

- 1) 携帯電話の電源はお切りください。
- 2) 私語など授業の進行の迷惑になる行為、教職員や他の学生に迷惑になる行為はご遠慮くだ

さい。

- 3) 貴重品は各自で管理してください。スクーリング終了後の忘れ物にご注意ください。
- 4) 障害を有する方のサポートを除き、学生本人以外の方が授業中教室に入ることとはご遠慮ください（ペットの同伴も不可）。
- 5) はしか・インフルエンザなど伝染性の疾患にかかっている方のスクーリング受講はご遠慮ください（p. 11～12も参照）。スクーリングには体調を十分に整えてご参加ください。
- 6) 教室内の電源は使用禁止です。
- 7) 講義の録画・録音は障害を有する方で事前に申告され許可を得た方、その他教員に許可を得た方以外とはご遠慮ください。
- 8) 来校の際、学生会活動など通信教育部がとくに認めたもの以外の個人的な理由による教室の貸出や、体育・音楽施設の利用はできません。
- 9) その他 p. 147～150の「キャンパス・マナー」はお守りください。

3 スクーリング試験

実験・実習指導科目などを除き、原則として最終時間に、教員の指示する方法でスクーリング試験を行います。スクーリング試験は普通に講義を受講し、内容を理解していれば合格点が得られるものです。スクーリング試験の結果は各期のスクーリング最終日から1カ月以内に郵送で通知します。

万一不合格の場合は、次回のスクーリングを再受講するか、または、科目修了試験を受験していただくこととなります。ただし、科目修了試験合格の場合は、スクーリング単位を修得することはできません。

4 スクーリング時の学習相談

スクーリングで来校された際、仙台会場では通信教育部事務室（管理棟2階）で履修や学習上の個別相談に応じています。お気軽にご利用ください。ただし、担当職員でないとは不明なご質問は後日の回答になることもありますが、ご了承ください。

仙台会場以外では、本学（通学課程・通信教育部）OBにスクーリング実施を委託している会場もあるため、後日の回答になることもありますが、ご了承ください。

5 スクーリング受講者専用「別レポート」について

スクーリングを受講した際、『レポート課題集2011（1・2年次）』p. 17～18記載の科目・課題

は、スクーリング受講者専用「別レポート」が配付されます。「別レポート」の多くは穴埋め、記号解答、○×式などの問題を科目ごとの専用レポート用紙に解答いただきます。

「別レポート」の提出は希望者のみですが、合格すれば、『レポート課題集』記載の該当課題のレポートは提出が不要になります。提出期限は受講後1カ月以内の科目が大半です。くわしくはp. 6をご参照ください。

6 講義の撮影・録画のお断り

インターネット配信授業やビデオスクーリング実施などのために講義を撮影・録画させていただく科目があります。教員や板書を中心に撮影するものですが、後ろ姿も映りたくない方は、左右端や後方の座席を利用していただくなどのご協力をお願いいたします。

V キャンパスマナー

本学では、「日本一きれいなキャンパス」を目指しています。本学のキャンパスを利用されるうえで、以下のようなことにご留意ください。みなさまの心掛けに期待します。

1 ごみは分別してごみ箱へ

自分で飲んだジュースの空缶、紙コップ等は必ずごみ箱へ捨ててください。ごみは2種類（缶・びん用、その他のごみ用）に分別して捨ててください。

2 たばこは定められた場所で

校舎内、食堂、福聚殿、けやきホールは全館禁煙です。歩行喫煙禁止、キャンパス内で吸い殻のポイ捨てをしないでください（携帯灰皿による喫煙も指定場所をお願いします）。

なお、ステーションキャンパスは敷地内全面禁煙となります。

本学以外の会場においても喫煙場所を必ず確認してから喫煙してください。

3 電話による伝言・呼び出し・照会はできません

みなさんの家族・友人等からの電話の取り次ぎや、呼び出しには、一切応じておりません。

4 自動車通学禁止

学生の自動車、大型二輪車による通学は禁止です。身体的な理由により、自動車でないと通学が困難な方は、巻末の様式13を利用して、80円切手貼付・返信先住所記入の返信封筒を同封し、郵送で自動車通学の申請をしてください。審査のうえ、自動車通学の許可・不許可を連絡します。

5 自転車・二輪車は駐輪場へ

自転車・二輪車による通学者は必ず定められた場所へ整然と駐輪するように心掛けてください。駐輪場は正門左手にあります。なお、90ccより大きい大型二輪車による通学はできません。

6 体調の悪いときは通信教育部事務室、または保健室へ

授業中に気分が悪いなど体調の不良を感じたら、教員または教室係員に申し出、通信教育部事務室（管理棟2階）、または保健室（2号館1階）へお越しください。

ケガや体調を崩された場合には、平日・土曜日については保健室にて応急処置を行っております。ただし、日曜日や一部土曜日など保健室が開室していない際は身体を休めることのできる場所のご案内や医療機関を紹介することとなりますのでご了承ください。

また、薬事法の改正もあり、大学の保健室ではお薬がお渡しできなくなりました（鎮痛薬、胃腸薬、風邪薬等の市販薬も置いておりません）。また、通信教育部事務室においても、軽度の擦り傷、虫さされ程度に対応できる救急セットの用意しかございません。つきましては、持病のある方などご自分の体調に不安のある方は、ご自身のご判断で常備薬などをお持ちください。

以上、あらかじめご承知おきください。

※AED（自動体外式除細動器）は国見キャンパスに4台（正門守衛室・保健室・学生生活支援課・福聚殿）、ステーションキャンパス館に1台（3Fカウンター）設置しております。

7 落とし物・忘れ物

落とし物に気づいたら通信教育部事務室（管理棟2階）へ届けてください。また、持ち物などの紛失に気づいた場合は、通信教育部にお問い合わせください。

通信教育部に届けられた場合、学籍番号・氏名等を記入していれば、本人に連絡しますので、できるだけ記入してください。

8 悪徳商法やカルト集団勧誘への備え

他大学ではスクーリングの際にキャンパスに集う学生を狙った悪徳商法やカルト集団の勧誘の事例が報告されています。キャンパスや路上で青年意識調査アンケートなどといって話しかけてくる、宗教や偽宗

教団体とは関係のないサークルであると言いながら親切そうに誘う、「買わないとたたりがある」などと脅して高い商品を押しつけるなど、巧妙な手口で不要な物を無理に買わせたり、高額を支払い契約をさせたりします。十分に注意するようにしてください。

万一、トラブルに巻き込まれたら、まず通信教育部に連絡するとともに、なるべく早く県の消費者110番窓口や、市町村の消費生活相談窓口などに相談してください。

9 セクシュアル・ハラスメント防止について

本学では、セクシュアル・ハラスメントのない安心で快適なキャンパスにするために、ガイドライン、防止対策、被害者救済の措置などを定め、その防止に積極的に取り組んでいます。各人が相手の人格を尊重し、快適なキャンパスライフを送りましょう。

セクシュアル・ハラスメントとは、行為者の意図にかかわらず、相手の意に反する不快な性的な行動や言動をいいます。その行動や言動によって、修学環境を著しく阻害することになれば、セクシュアル・ハラスメントとなります。たとえ、冗談のつもりであっても、相手の気持ちを考えない一方的な言動や行動はセクシュアル・ハラスメントです。

予防と再発防止のためには、下記のことにご注意ください。

- ・嫌なことははっきりと意思表示することが大切です。
- ・滞在先の場所や電話番号等の個人情報をむやみに教えないようにしてください。
- ・もし被害にあったら、信頼できる人に相談しましょう。一人で我慢しないこと。
- ・本学では保健室、学生相談室でキャンパス内のセクシュアル・ハラスメントの相談に応じております。

相談内容は相談者の了解を得ずに部外者に漏れることは一切ありませんので、ご安心ください。

10 万一の地震に備えて

下記の点に注意してください。

- (1) 授業中に大地震があったら
 - ・あわてて外に飛び出さない。一斉に出口に殺到しない。
 - ・頭上からの落下物に注意する。揺れがおさまったら教員、緊急放送の指示に従い校舎の外に避難する。
- (2) エレベーター内で大地震があったら
 - ・止まった階ですみやかに降りる。
 - ・万一、エレベーターに閉じ込められてもインターホンで連絡する。
- (3) 図書館で大地震があったら
 - ・本棚の下敷きにならないよう机の下に避難する。揺れがおさまったら職員、緊急放送の指示に従い校舎の外に避難する。

- (4) 校舎外で大地震にあったら
 - ・頭上からの落下物に注意する。
 - ・建物の近くに寄らずに広い場所に避難する。
- (5) ホテル滞在中・通学途中に大地震にあったら
 - ・ホテル滞在中の地震に備えて、非常口・避難ルートを確認しておく。
 - ・通学途中の時は危険な場所に近寄らず、安全な場所に避難する。
 - ・テレビ・ラジオなどでの確かな情報収集に努める。

VI インターネット等を利用したスクーリング

スクーリングは、通信教育での学習にあっては、教員や学生同士が接触できる数少ない機会ですので、大学という空間の雰囲気を楽しむながらの対面授業がもっとも効果的な方法であると考えられます。下記のインターネット等を利用したスクーリングが一部開講されても、対面授業がなくなることはありません。

しかし、勤務や家庭の都合で、本学まで何回も足を運ぶことが難しい方もおられると思います。一部の科目については、ここで述べるような形態のスクーリングも実施しています。

なお、下記の実施のために、スクーリングの際に講義風景をビデオ収録させていただくことがございますが、ご了承ください。

1 インターネット配信授業——会場配信型

仙台でのスクーリング講義をインターネット回線の使用によって配信・中継する方法で、他の会場でも受講できる方式です。受講してスクーリング試験に合格すれば、通常のスクーリング単位が修得できます（②の「ビデオ・スクーリング」による放送授業扱いの単位とは異なります）。

授業中の限られた時間には仙台にいる教員に質問もできますが、それ以外の時間は一方的に講義を視聴することになります（教室の前のテレビやスクリーンに仙台での講義を映し出します）。

音声・画像は講義を理解するうえでは問題のないものです。これまでにこの方式で受講していただいた方にも臨場感があるとおおむね好評をいただいておりますが、ナマの講義

ではない分双方向性に欠ける面があります。また、配信には十分な準備をいたしておりますが、インターネット回線の支障等により音声・画像が切断された場合は、その時間自習課題に取り組んでいただくこともございます（その場合、スクーリング試験で不利益にならないように配慮いたします）。

「福祉心理学」、「福祉法学」、「公的扶助論」、「社会保障論」などの科目について、仙台での講義を東京や札幌・新潟・盛岡の会場へ配信予定です。それ以外の科目については、現在のところ配信予定はありません。

スクーリング受講料は、通常のスクーリングと同じです。受講者には、講義終了後にインターネット配信授業を受講してのアンケートにご協力いただければ幸いです。

2 ビデオ・スクーリング——ビデオ視聴型

仙台でのスクーリング講義をビデオ収録したものを、別の時間に他の会場で見いただく方式です。法規上「放送授業単位」扱いとなりますので、卒業所要スクーリング単位30単位以上（2年次編入学者は22単位以上、3年次編入学者は15単位以上）のうち10単位分以上卒業に必要なスクーリング単位として数えることはできません（1～3年次入学者とも同じ）。また、現時点では多くの地域で開講することは現実として難しい状況です。

●実施予定科目 「福祉心理学」「高齢者福祉論」「介護概論」ほか『レポート課題集（3・4年次）』や『試験・スクーリング 情報ブック』でVTRと記載の科目

●申込方法・スクーリング受講料 通常のスクーリングと同じ

通常のスクーリングを補充するものとの位置づけで実施しております。受講する方は、下記の5点をご了承ください。

- (1) 途中グループディスカッションの時間が設けられている講義では、指示に従い、同様にディスカッションを行っていただきます。
- (2) ビデオ収録の際、板書の見やすさと音声の聞き取りやすさには配慮いたしておりますが、若干の映像の乱れや音とび、雑音が発生している箇所がございます。また、時事問題や季節の話題にズレが生じますが、ご了承ください。
- (3) 板書が見えにくい場合や音声聞き取りにくい箇所ございましたら、遠慮なく担当係員にお申し出ください。
- (4) 担当教員はその場におりませんので、質問が出た場合は、後日の回答となります。

3 オンデマンド型授業——在宅受講型

スクーリングでビデオ収録した講義，あるいは別途収録した講義を，自宅のパソコンで一定期間内の任意の時間に聞き，その後掲示板で議論したり，小テストに答えたりすることによってスクーリング受講扱いとするものです。パソコンが自由に操作できることが受講の条件です（現時点ではパソコン操作についてのサポートは一切できません）。インターネットを用いた通信で行いますので，自宅にISDNまたはADSL程度以上の通信回線が必要になります。試験の実施方法は科目によって異なります。

また，講義後掲示板でディスカッションする形式をとるものは通常のスクーリング単位に，そのような形式をとらないものはビデオ・スクーリングと同じ「放送授業単位」になります。23年度実施科目は「通常のスクーリング単位」になる方法で実施予定です。

●講義視聴方法 10章 p. 165～169参照

●実施予定科目 「社会福祉援助技術総論」「福祉心理学」「生涯発達心理学」ほか『レポート課題集（3・4年次）』や『試験・スクーリング 情報ブック』でオンデマンドと記載の科目

●開講スケジュール（申込締切・視聴締切予定） 『レポート課題集（3・4年次）』や『試験・スクーリング 情報ブック』記載の実施予定表参照

●受講申込方法 『With』に案内が出てから，『With』に記載の要領で電子メールにて申込み

●スクーリング受講料 通常のスクーリングと同じ

●試験実施方法 多くの科目は在宅でのレポート試験ですが，一部科目は①会場試験（科目修了試験時利用），または②会場視聴・試験（原則として仙台会場のみ）による科目もあります。

オンデマンド型授業の申込みや受講にあたってのその他の留意点は下記のとおりです。

(1) 受講の申込前に「オンデマンド型授業 デモ版」を視聴し，「デモ版」のディスカッション欄の「参加」ボタンをクリックし，授業の感想を記入することが必要です（以前に申込んだことのある方も再度必要です）。

※掲示板に発言が反映されるまで多少時間がかかる場合があります。

(2) 掲示板の氏名をハンドル名に変更したい場合は，本冊子 p. 168の「手順5 全般的な利用方法」を参照のうえ，「ハンドル名」を決定してください。いったん決めた「ハンドル名」は変更しないでください。

- (3) 申込締切日までに申込み科目の履修登録をしていない方は、受講できません。
- (4) 期限までにスクーリング受講料の入金がない方は、納入期限以降の受講はできません。また、初回講義が満足に閲覧できることを確認したうえで入金してください。入金後の返金はいっさいできませんので、ご注意ください。
- (5) スクーリング受講料は、通常のスクーリングと同じです。ビデオ収録の際、板書の見やすさと音声の聞き取りやすさには配慮いたしておりますが、若干の映像の乱れや音とび、雑音が発生している箇所がございます。また、時事問題や季節の話題にズレが生じますが、ご了承ください。
- (6) 申込後のくわしい手続きや試験実施方法は、申込者に初回講義閲覧開始日までにご案内いたします。
- (7) 受講者側のパソコンや回線の不具合を理由とする試験提出期限の延長などの配慮はできません。
- (8) 大学においてインターネット配信授業実施期間中は講義が視聴できません。また、予期せぬサーバーのダウンなどにより、講義が視聴できなくなることがありますので、ご了承ください。

4 他大学との間の「単位互換協定にもとづくスクーリング」

1部 p. 38をご覧ください。希望する方のみがご利用ください。

